

船舶事故等調査報告書

平成22年5月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第33号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年1月4日 12時25分ごろ	
発生場所	阪神港堺泉北区	
事故等調査の経過	平成22年2月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A LPG運搬船 第二十一 ^{ひよし} 日吉丸、998トン 135326、日吉海運有限会社 B 油タンカー 京阪丸 ^{けいはん} 、196トン 135136、フェニックス海運有限会社	
乗組員等に関する情報	A 船長、一級海技士（航海） B 船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	A 右舷中央部のハンドレールに擦過傷及び曲損 B 左舷船尾部に擦過傷	
事故等の経過	A船は、船長ほか8人が乗り組み、阪神港堺泉北区において錨泊中、B船は、船長ほか3人が乗り組み、A船に燃料油を補給するため接近中、平成22年1月4日12時25分ごろ、A船の右舷中央部とB船の左舷船尾部とが衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 5 海象：波高 約1m、潮汐 下げ潮の初期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり A船は、阪神港堺泉北区において、錨泊していたものと考えられる。 B船は、A船に燃料油を補給するため接近中、強風に圧流された際、操船を適切に行わなかったものと考えられる。
原因	本事故は、阪神港堺泉北区において、B船が燃料油の補給を行う目的で、錨泊していたA船に接近中、B船が強風に圧流された際、操船を適切に行わなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	